

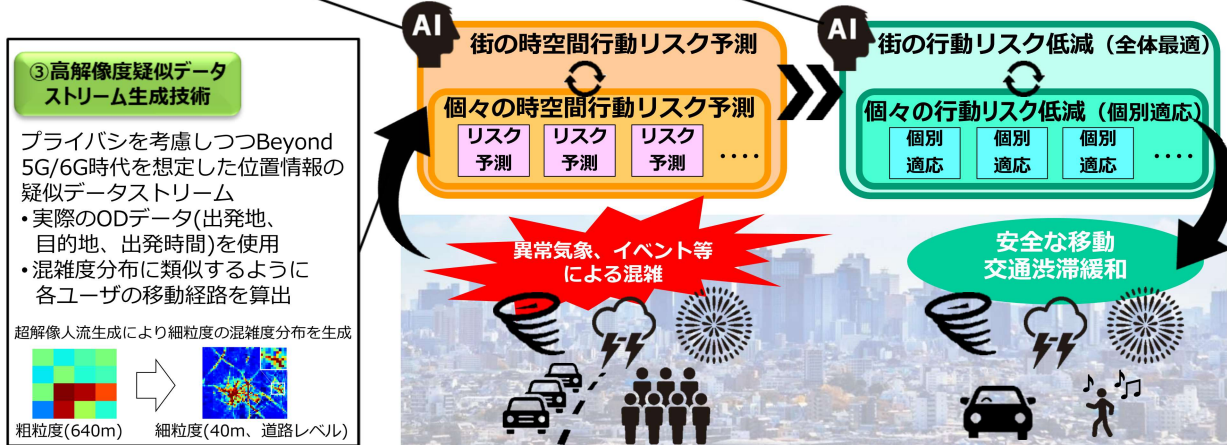
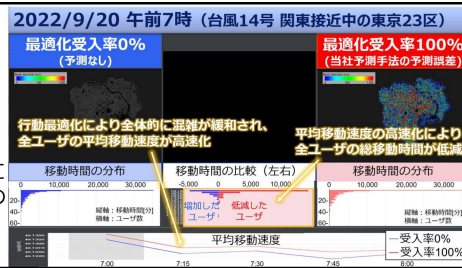
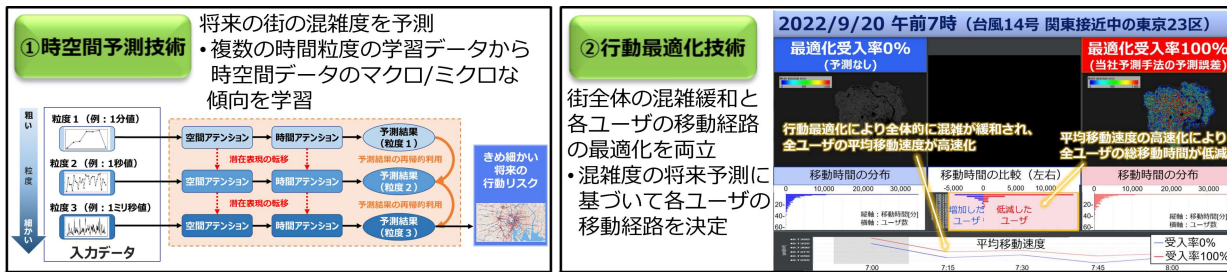
事象変化に即応可能な行動予測・最適化技術

～ 多様な時空間マルチモーダルデータを統合分析することで従来より精度よく街の状況把握が可能に～



概要

近年、頻発化・激甚化する風水害などの社会課題解決を目指し、突発的な異常発生時にも即応可能な行動ナビゲーションサービス実現のための要素技術の研究開発を進めています。



特徴

- ① 複数時間粒度で時空間データの傾向を学習し、事象変化に高精度で即応可能な時空間予測
- ② 街の混雑緩和と各ユーザの移動最適化の両立
- ③ Beyond 5G/6Gを想定した高解像度な疑似データストリーム

ユースケース

異常発生時 (大雪、台風、イベント等) における

- ・ 混雑や渋滞の回避支援
- ・ 避難誘導支援

今後の展開

- ・ NICT総合テストベッドへの実装と公開を通じた成果展開
- ・ 実用化に向けた実証実験と社会実装

※本展示はNICT高度通信・放送研究開発委託研究「持続性の高い行動支援のための次世代IoTデータ活用技術の研究開発」(課題227)の成果

【お問合せ先】

株式会社KDDI総合研究所 マルチモーダル・モデリンググループ 西村 康孝
NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所 統合ビッグデータ研究センター

Mail : yu-nishimura@kddi.com
Mail : xdatapf-contact@ml.nict.go.jp